

第8回 両荘地区義務教育学校開校準備委員会 次第

日時：令和4年10月28日（金）19時から

場所：両荘公民館 大ホール

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 花*花さんご紹介
- 4 議題
 - (1) 校歌フレーズの募集結果について

 - (2) 校章デザインの募集結果について

 - (3) 通学手段について
- 5 報告 両荘みらい学園建設工事の進捗状況について
- 6 その他
- 7 閉会

◎資料

両荘地区義務教育学校開校準備委員会 委員名簿

- 1 校歌フレーズ募集結果
- 2 校章デザイン募集結果
- 3 スクールバスルート、通学路図（案）
- 4 両荘みらい学園建設工事進捗状況

加古川市両荘地区義務教育学校開校準備委員会 委員名簿

(令和4年6月1日現在)

委員区分	所 属	氏 名	備 考
地域団体の代表	平荘町町内会連合会長	谷川 一成	
	上荘町町内会連合会長	前川 武俊	
こども園保護者会の代表	都台こども園保護者	泊 麻由	
	みどりの森こども園保護者	南 英樹	
P T Aの代表	平荘小学校P T A開校準備委員	高宮 知子	どちらか 一名が参加
	平荘小学校P T A開校準備委員	野村 裕美	
	上荘小学校P T A副会長	荻内 智恵子	
	両荘中学校P T A総務書記	稲岡 初音	
学校の代表	平荘小学校 校長	進藤 香代	
	〃 主幹教諭	田中 慎一郎	
	上荘小学校 校長	須藤 長之輔	
	〃 主幹教諭	大久保 隆志	
	両荘中学校 校長	神吉 直哉	
	〃 主幹教諭	國分 一徳	

◎事務局

所 属	役職名	氏 名	備 考
教育総務課	学校規模適正化担当課長	福本 圭司	
	経理係長	畠 嘉彦	
	管理調整係主事	澤 真司	
学校施設課	課長	横田 知彦	
学校教育課	学校企画係長	前田 輝刀	
	学校企画係指導主事	大西 健二	
	学校企画係指導主事	荒井 英樹	

両荘みらい学園 校歌フレーズ募集結果

【募集概要】

・ 応募期間：令和4年7月15日（金）～令和4年9月16日（金）

・ 応募資格：①両荘地区にお住まいの方
②両荘中、平荘小、上荘小の児童生徒及び教職員
③両荘中、平荘小、上荘小の卒業生

・ 応募総数：324件

・ 応募者の内訳

①地域 18件
②在校生 294件
③卒業生 12件

・ 応募方法の内訳

①応募箱 18件
②持参 1件
③メール 3件
④郵送 9件
⑤FAX 1件
⑥学校 292件

No.	フレーズ	想い
1	Communication	元気でこのびのび楽しく通学し、個性豊かに健やかに。
2	あいさつ	両荘の土地ならではの自然や、両荘の生徒の元気の良さやあいさつが良くできる生徒が増えていくようにとの想い あいさつの鳴り響く学校になってほしいから
3	あかね色の夕焼け り色の朝焼け 両荘の空を色どる幸せの色	この両荘地域の自然と、特に日々美しい空の美しさを、新校歌に入れていただいて、再確認してもらえたらありがたいです。
4	ありがとう	「ありがとう」ときいたら、とてもうれしい気持ちになるからです。
5	いっしょに	みんなでのびのびと羽ばたけるように
6	いつもとなりには信頼する仲間がいる	仲間と共に協力し、平和に過ごす
7	いのち輝く	「いのち」を大切にしてほしい。この学園で自分の「いのち」、他の人の「いのち」を大切にすることを学んでほしい。それぞれの「いのち」を「輝かせて」、「みらい」に向かって明るく自分らしく進んでほしいという思いを込めました。
8	えがおでたのしくみんなであう あかるいがっこう みらいへつなげよう みんなのちからで	あかるいたのしいがっこうになってほしいから
9	かがやき	未来や栄光に進んでいってほしい
10	かがやく	みらい学園がいつまでもかがやいてほしいから みんな自分の意見をしっかりとと言えるかがやいた小中学生になってほしいという想い
11	がんばろう	いろんなくろうがあってもがんばってのりこえる
12	きぼう	みらい学園のことを入れた。
13	きもちがよくなる言葉	楽しい学校
14	きらきら光る川面に映る未来へ向かって歩き出す	三校とも「加古の流れ」というフレーズがあるので、それを今風にアレンジしました
15	きらめき 輝く 最高の未来へ	大切な仲間といっしょに輝く未来へはばたいてほしいと思ったから
16	きんだんの力 百年先も	百年先もこの学校が続きますようにという願いを込めた
17	くすの木	小学校の砂場にあった大きなくすの木、暑い夏の日、木陰で涼んでた
18	こうかながれる	自分が考えたから
19	こがねなみうつ	お米がまるでこがねのようにきれいという意味があるから。
20	さあ いっしょに いまを超えて はばたこう	大切な仲間といっしょに輝く未来へはばたいてほしいと思ったから
21	しぜんあふれる	緑をいっぱいにしたいから
22	しぜんたくさん	かがわのいいところだから
23	せいとのやさしさ せいとの元気 みんなみんな たくさんあるよ	みんながやさしさ、元気がたくさんできると思うから。
24	その朝日あび のびる木々	その朝日を木や植物があびて、元気にのびている。
25	たいようにむかってはしろう	下を見ないで上を見よう
26	たましい	みらい学園が続いてほしい 四季の変化を感じられる学校になってほしい 学園生活を満喫できる学校になってほしい
27	つどう	「加古の流れ」のフレーズは3つの校歌全てに入っているので次の校歌にもつなげたいと思ったからです。両荘みらい学園は、これからずっとその名前なので他の学校も入れているので同じように似ているようにしたいと思ったからです。

28	つどう我らの学び舎は強き心と身体をば磨き鍛えん庭なるぞ	この3つの案は、平荘小学校、上荘小学校、両荘中学校、3校の僕の内での良いなと思ったフレーズです。出来れば3つとも入れてほしいです。
29	ともだち	ともだちはだいじだからです。
30	ともに歩め	学校名にみらいがあるので、「みらいのために」という意味でこの言葉にしました。
31	どんなことにも立ち向かう	みらいに向かって立ち向かう、どんなことにも
32	なかま	ずっといっしょにいるから、なかまと入れました。
33	なかよく	みんなとなかよくして友だちになってほしいから
34	なかよし	かこがわのいいところだから。
35	なんでも私たちあがる みらいがくえん	何度でも立ち上がってがんばる、というおもいから
36	はばたく	みらいにはばたくように 未来へはばたく生徒たちをイメージした
37	はばたけ	小学生・中学生ともに交流がある学園 未来をめざして
38	びかいちの自然がある	自然がいつばいだから、自然がほこり
39	ひまわり	みらい学園が続いてほしい 四季の変化を感じられる学校になってほしい 学園生活を満喫できる学校になってほしい
40	みどり	前向きに全員で助け合おうという想いを込めた。 みどりがきれいで、前向きに、全員で助け合おうという想いをこめた。 みどりがいっぱいあるから
41	みどりゆたかなだいちから みらいにはばたく りょうそ うっこ	みどりゆたかな平荘町と上荘町の地から、みらいでは日本や世界で活躍する子どもたちがいることを願って書きました。
42	みどり豊かな	自然が多い両荘地区が発展していくようにこの思い
43	みらい	両荘みらい学園だからでもあるし、みらいにつながることをしてほしいからです。 みらいにみかっすすむ、という意味がこめられている。 みらいにむかって、つきすすむ 両荘みらい学園の校歌だから 両荘みらい学園の生徒が自分の未来のために学業に励んでほしいから みらいも楽しく生きてほしい みらい学園が続いてほしい 四季の変化を感じられる学校になってほしい 学園生活を満喫できる学校になってほしい みんなでのびのびと羽ばたけるように みんな自分の意見をしっかりとと言えるかがやいた小中学生になってほしいという想い みんながみらいに向かって学べる校舎を作りたい 加古川が近くにある ふるさとを大切に思う気持ち このみらい学園にみらいがあって欲しいから 学校名にもあるし、未来に向かって羽ばたいてほしいから みんなでみらいへ向かっていくという想い
44	みらいに向かって	みらいに向かうという思い みらいに向かってはばたこうと想い
45	みらいに向かって進め	どんなみらいでもおそれずトライする
46	みらいのかけ橋	学校名にみらいがあるので、「みらいのために」という意味でこの言葉にしました。
47	みらいのために	両荘にみらいもついているし、みらいのことを考えていたいと思ったから
48	みらいの扉をあけて	みらいに向かって立ち向かう、どんなことにも
49	みらいへ	みらいへ向かってたくましく成長する 両荘「みらい」学園 両荘中学校の伝統を受け継ぎ、みらいに向かって学校一丸となるような姿
50	みらいへバトンをつないでいこう	代々引き継いでいける最高の学校にしたいから みらいへの希望を抱いてほしいから 世界へととびだっていってほしいから
51	みらいへはばたけ	みらいに向かって走り出せ 未来へはばたいてほしい

52	みらいへ向かって	学校の名前にもあるとおり、これからみらいへ向かって進んでいきたいという思い
53	みらいをだいた生徒たち	みらいをだいている生徒という想いです。
54	みらい学園	みらい学園のことを入れた。 皆が思いやりの心を持ち、笑顔で元気なみらい学園になってほしいという想い。また、一生懸命学ぶみらい学園になってほしいという想い。
55	みらい学園から広げる笑顔、元気の輪	とても元気な両荘の生徒が、両荘の土地に笑顔や元気をもたらし、いい町にしたいという想い
56	みらへはばたくせいとたち	未来へはばたいてほし
57	みんな	みんなでみらいに向かっていくという想い いいことばだからです。
58	みんな楽しい学校	この言葉があつたらじめやいやなことがないように、みんな楽しい学校にしました。
59	みんな友だち	いい言葉と思ったから。
60	みんな友だち なかよし	いい気持ちになるし、友だちがたいせつだから。
61	もみじ	みらい学園が続いてほしい 四季の変化を感じられる学校になってほしい 学園生活を満喫できる学校になってほしい 両荘みらい学園が明るくはなやかな学園にしたいなという思い
62	もみじちりゆく	みんながえがおになるため。
63	やさしさを友だちに	友だちを思う心があるから
64	ゆれる花	「加古の流れ」のフレーズは3つの校歌全てに入っているのだから次の校歌にもつなげたいと思ったからです。両荘みらい学園は、これからずっとその名前なので他の学校も入れているので同じように似ているようにしたいと思ったからです。
65	わだいに	両荘のすきなところ
66	われら	「加古の流れ」のフレーズは3つの校歌全てに入っているのだから次の校歌にもつなげたいと思ったからです。両荘みらい学園は、これからずっとその名前なので他の学校も入れているので同じように似ているようにしたいと思ったからです。
67	われらがえがく両荘みらい学園	自分たちの意見が通り、自分たちで学校の形をつくっていくという思いを込めました
68	われらが築く両荘みらい学園	自分たちで学校をよりよくしていくために努力をしていくという意味を込めました
69	われらは交わす明るい土に交わり笑まいこころのままに	この3つの案は、平荘小学校、上荘小学校、両荘中学校、3校の僕の内での良いなと思ったフレーズです。出来れば3つとも入れてほしいです。
70	一生懸命	皆が思いやりの心を持ち、笑顔で元気なみらい学園になってほしいという想い。また、一生懸命学ぶみらい学園になってほしいという想い。
71	羽ばたく	みんなでのびのびと羽ばたけるように
72	羽ばたけ両荘みらい学園	子どもたちがみらいにはばたくように
73	雲のゆききに	「加古の流れ」のフレーズは3つの校歌全てに入っているのだから次の校歌にもつなげたいと思ったからです。両荘みらい学園は、これからずっとその名前なので他の学校も入れているので同じように似ているようにしたいと思ったからです。
74	叡智にみちて 希望の道を	元気で伸びのび楽しく通学し、個性豊かに健やかに。
75	影	影、光、星、キラキラした、強さと心をもった人になってほしいと思って書きました
76	栄光	未来や栄光に進んでいってほしい
77	何度でもたちあがる 両荘みらい学園	何度でもたちあがる想いから
78	何度でも立ち上がる勇氣	何度でも立ち上がれるような勇氣がある子になってほしい。
79	加古	両荘、上荘、平荘、どの校歌にも入っているから
80	加古の～	小学生・中学生ともに交流がある学園 未来をめざして
81	加古のながれ	加古川の未来を思いうかべた

82	加古の流れ	平荘・上荘・両荘の全ての学校に入っていたからです。
		「加古の流れ」という歌詞は、平荘小、上荘小、両荘中のどの校歌にも使われているから。
		加古川がちかちかに流れて、しずかにながれているから、いつでも冷静にと想いを込めた。
		加古川がながれている様子
		加古川をイメージした
		上荘小、平荘小、両荘中のどの校歌にも共通しているワードで、加古川のシンボルとして入れたい。
		平荘と上荘のどちらにもある言葉だから
		3校とも入っているから
		緑あふれる両荘
		現在の校歌にも入っており、なじみ深く象徴となるから。
		両荘のいいところを校歌に入れようという想い
		学園の周りには、川もあり山もあり自然豊かな所であるという意味。
		「加古の流れ」のフレーズが3校にはいつているし、加古川市を象徴する川だから、「加古の流れ」というフレーズは入れたい(残したい)です。
		加古の流れは、平荘小学校も上荘小学校もつかわれているから
		「加古の流れ」のフレーズは3つの校歌全てに入っているから次の校歌にもつなげたいと思ったからです。両荘みらい学園は、これからずっとその名前なので他の学校も入れているので同じように似ているようにしたいと思ったからです。
		地域に加古川が流れているから
		平荘・上荘小学校と両荘中学校のどれにもこのフレーズが入っているから、両荘みらい学園も受けついでほしいから
		全ての学校の校歌に入っているし、加古川は両荘地区のシンボルでもあるから
		土の校歌にも入っているから
		未来へはばたいてほしいという想い
		加古川が近くにある ふるさとを大切に思う気持ち
		三校の校歌にはいつている言葉を選び、未来に向けてがんばっていきたいという想い
		両方同じフレーズがあるから
		3校どこも歌詞に入っていて、加古川地域の学校として大切だと思ったから
		上荘小と平荘小にあるから
		まず学校名は必要だと思ったし、平荘は分からないけど、小学校も中学校も加古の流れが入っているから
上荘と平荘が合わさって両荘みらい学園が生まれるという想い		
小学校のころに一番始めに教えてもらったフレーズだったから		
上荘町、平荘町共に、一級河川である”加古川”に接しており、加古川の豊かな水に恩恵を受けている。 上荘小学校と両荘中学校の校歌に「加古の流れ」という言葉が入っているので受け継いでほしい。		
83	加古の流れ 未来に向けて	加古の流れは、現在のどの校歌にも入っていて、両荘みらい学園にも入れたいと思ったから。 両荘みらい学園の名前のおり未来に向けてがんばるという意味です。
84	加古の流れに	どの校歌にもはいつていたから
85	加古の流れの光る波	朝の太陽から加古川の水が光って、風でゆれて、あたたかい日の始まり。
86	加古の流れの水澄みて みらいを支える	未来を支えられる
87	加古の流木背にうけて 輝くわれら	加古川の川の流れのように、時にはおだやかに時には激しくみんなで切磋琢磨しながら成長できる学園になるように想いを込めて考えました
88	加古川	住んでいる市の特徴
		平荘小学校と上荘小学校と両荘中学校が加古川でつながっているから、つながりという想い
		平荘小の校歌にあるから入れてほしい
		3つの学校が川の平行にあるので、加古川の川の思い
		加古川の自然の加古川や平荘湖をいれた
		両荘のいいところを校歌に入れようという想い
		両荘みらい学園の未来が明るくなってほしい

89	加古川(自然)	両荘の土地ならではの自然や、両荘の生徒の元気の良さやあいさつが良くできる生徒が増えていくようにとの想い
90	花	花のように1人1人も守りながら育てていく
91	我ら	平荘小、上荘小、両荘中の校歌全てに含まれていて、名残を残したいから
92	学びあい	元気でのびのび楽しく通学し、個性豊かに健やかに。
93	学び舎	みんながみらいに向かって学べる校舎を作りたい
94	学ぶ	小学生・中学生ともに交流がある学園 未来をめざして 皆が思いやりの心を持ち、笑顔で元気なみらい学園になってほしいという想い。また、一生懸命学ぶみらい学園になってほしいという想い。
95	楽しい学校	みらい学園のことを入れた。
96	願わくば両荘のみらいがすこやかであらんことを	言葉のままの意味です
97	希望	小学生・中学生ともに交流がある学園 未来をめざして なにごとにもあきらめず、希望をもって進もう 代々引き継いでいける最高の学校にしたいから みらいへの希望を抱いてほしいから 世界へととびだっていってほしいから 光をめざし進んでいきたい 希望にみちたみらい みんなには希望や未来があるということ
98	希望の光	学校名にみらいがあるので、「みらいのために」という意味でこの言葉にしました。
99	希望の笑顔でめぐり逢い 頼もしい笑顔で旅立つよ	小中一貫校になるので、小1の子はお母さんと離れ不安ながらも希望にみちた笑顔で、中3になるとたのしい姿となり笑顔で友達と別れをし旅立つ
100	輝き	みらい学園が続いてほしい 四季の変化を感じられる学校になってほしい 学園生活を満喫できる学校になってほしい
101	輝く	小学生・中学生ともに交流がある学園 未来をめざして 星のようにキラキラを輝く若者に
102	協力	皆が思いやりの心を持ち、笑顔で元気なみらい学園になってほしいという想い。また、一生懸命学ぶみらい学園になってほしいという想い。
103	強	影、光、星、キラキラした、強さと心をもった人になってほしいと思って書きました
104	近い星	「加古の流れ」のフレーズは3つの校歌全てに入っているため次の校歌にもつなげたいと思ったからです。両荘みらい学園は、これからずっとその名前なので他の学校も入れているので同じように似ているようにしたいと思ったからです。
105	空へはばたく	みらい学園がはばたくという意味
106	繋がり	3つの学校が組み合わせることで、地域の繋がりが深くなると思うから。
107	見上げる空は美しく 壮大な未来が見えている 緑豊かな平野には 爽快な風が吹き抜ける	上荘小、平荘小が一貫となり、名前がなくなってしまう事から校歌のフレーズに残せないかと思い考えました。 ●上荘⇒見(上)げる/(壮)大な ●平荘⇒(平)野/(爽)快
108	元気	両荘の土地ならではの自然や、両荘の生徒の元気の良さやあいさつが良くできる生徒が増えていくようにとの想い 皆が思いやりの心を持ち、笑顔で元気なみらい学園になってほしいという想い。また、一生懸命学ぶみらい学園になってほしいという想い。
109	個性を秘めて心ひとつに	元気でのびのび楽しく通学し、個性豊かに健やかに。
110	湖	小学生・中学生ともに交流がある学園 未来をめざして
111	湖のみなも	良い心(れいせいな心)で、天気の良い日の湖の水面のように、という意味
112	交わり	平荘と上荘という2つの地域が「両荘」というまとまりで交わることができ、そして人々が交流する場所となる両荘ならではの良さをこのフレーズに込めた。
113	交わり笑まい	笑顔がある学校の方が楽しいと思うから
114	交流	平荘と上荘という2つの地域が「両荘」というまとまりで交わることができ、そして人々が交流する場所となる両荘ならではの良さをこのフレーズに込めた。
115	光	前向きに、全員で助け合おうという想いをこめた。 影、光、星、キラキラした、強さと心をもった人になってほしいと思って書きました
116	光り輝く	「みらい」学園なので「みらい」がこうあってほしいという想い

117	光り輝く 学び舎だ	毎日、両荘みらい学園の子たちが輝てオーがたくさんの学園
118	光る	ひとりひとりの個性が光るように
119	広い田んぼ	両荘のすきなところ
120	骨太の愛宕さん、みんな、みんなを見守ってくれてありがとう。	自立たない山ですが、あんなこと、こんなことがありました。
121	今日の学びは明日のために 明日の学びは未来のしあわせな社会のために	何のために学ぶのか。少し「社会貢献」のためであるということを加えて、「みらい」学園らしいフレーズを考えました。
122	桜	みらい学園が続いてほしい 四季の変化を感じられる学校になってほしい 学園生活を満喫できる学校になってほしい
		両荘みらい学園が明るくはなやかな学園にしたいなという思い
		桜が多く植えてある学校だから
123	桜の花が 知らせる季節	桜の花が咲いて、もうすぐ進級できると感じられる。
124	山	両荘のいいところを校歌に入れようという思い
		両荘の土地ならではの自然や、両荘の生徒の元気の良さやあいさつが良くできる生徒が増えていこうよとの思い
125	思いやり	皆が思いやりの心をもち、笑顔で元気なみらい学園になってほしいという思い。また、一生懸命学ぶみらい学園になってほしいという思い。
126	思いやりのある	みんながやさしく、力をあわせていけるように
127	私たちが輝くみらいへ導く	この学園でしっかり学べば希望する将来にたどり着ける
128	自然	住んでいる市の特徴
		緑あふれる両荘
		自然は、自然の中にあるということを表したかったから
		子どもたちがみらいにはばたくように
		自然豊かな両荘から
129	自然あふれる平荘の里	自然ゆたかだから
130	自然を愛し学ぶ日々	校外広がる豊かな自然を愛し、学びを深めていこうという思い
131	自然豊かな	両荘地区は、自然がとても豊かなのでいれたいです
132	自分を信じて	これから新しい学校生活が始まるので、いいスタートが切れるように前向きな気持ちになってほしいから
133	七色	一人一人の個性、七色の未来
134	実る	小学生・中学生ともに交流がある学園 未来をめざして
135	手と手で伝わる友情	両荘みらい学園が明るくはなやかな学園にしたいなという思い
136	手と手をつなぎあい 一人の力も倍になる	一人だけの力より、みんなで力を合わせた方が倍になるから
137	手と手をつなぐ友と友われら若木の歌う声	この3つの案は、平荘小学校、上荘小学校、両荘中学校、3校の僕の内での良いなと思ったフレーズです。出来れば3つとも入れてほしいです。
138	受け継ぐ	両荘中学校の伝統を受け継ぎ、みらいに向かって学校一丸となるような姿
139	春 夏 秋 冬	両荘みらい学園が明るくはなやかな学園にしたいなという思い
140	笑まい	両荘みらい学園が明るくはなやかな学園にしたいなという思い
141	笑顔	皆が思いやりの心をもち、笑顔で元気なみらい学園になってほしいという思い。また、一生懸命学ぶみらい学園になってほしいという思い。
142	上荘	上荘と平荘が合わさって両荘みらい学園が生まれるという思い
143	心	両荘の人たちが思いやりのある心を持ってほしいからです。
		影、光、星、キラキラした、強さと心をもった人になってほしいと思って書きました
		皆が思いやりの心をもち、笑顔で元気なみらい学園になってほしいという思い。また、一生懸命学ぶみらい学園になってほしいという思い。
144	心のふれあい つながりあい	元気でのびのび楽しく通学し、個性豊かに健やかに。

145	心ゆたかな農作に しぜんゆたかな虫の声	加古川にはしぜんがいっぱいあって、夏はセミ、秋はず虫など、いっぱい虫の声がきこえるから。 両荘はいかなので、お米やトマトなどがそだつから。
146	新しいみらいへレッツゴー	新しくできたみらいへ行こう、ということ
147	新しい学び舎に集い 皆で学べる希望を胸に	上荘、平荘、両荘の三つの学校が新しい校舎で1つに集まるので、これからの新しい学校でのいろいろな出会いに期待を込めて考えました。
148	新時代	今から新しく始まる学校だから
149	親友	場所がかわってもずっと友だち
150	進む	未来や栄光に進んでいってほしい
151	進め	みらい学園が続いてほしい 四季の変化を感じられる学校になってほしい 学園生活を満喫できる学校になってほしい
152	進め！！	なにごとにもあきらめず、希望をもって進もう
153	進歩	前向きで良いと思ったから
154	仁(じん)	中国古典の論語の中に、「仁」という言葉がよく使われています。「仁」とは、いつくしみ、思いやりという意味だそうです。今後両荘みらい学園から仁者を多く育成していただきたいと願っているところです。
155	澄み渡る空 いつもの君の笑顔 いつもの君の笑顔 朝もやに響く 小鳥の歌声 おはよう また今日が始まる 豊かな緑と あたたかいまなざし すくすく育つ みらいっ 子	・澄み渡る空、豊かな緑⇒環境の素晴らしさ ・いつもの笑顔⇒クラス替えのない親しさ ・小鳥の歌声⇒春になるとずっとうぐいすが鳴いているので
156	世界	代々引き継いでいける最高の学校にしたいから みらいへの希望を抱いてほしいから 世界へととびだっていってほしいから
157	星	影、光、星、キラキラした、強さと心をもった人になってほしいと思って書きました 星のような遠い世界に手がとどくひとにするため
158	青雲の志	何度の失敗にもめげず、強い思いをもって人生を自分のものにしてほしい。
159	赤とんぼ	中学校のプールに夏の終わりに集まって来ました
160	雪	みらい学園が続いてほしい 四季の変化を感じられる学校になってほしい 学園生活を満喫できる学校になってほしい
161	川が流れる	加古川の川が流れるような想い
162	前向きに	これから新しい学校生活が始まるので、いいスタートが切れるように前向きな気持ちになってほしいから
163	前進だ	前に進んでほしい
164	大きな銀杏の木	
165	大切	皆が思いやりの心をもち、笑顔で元気なみらい学園になってほしいという想い。また、一生懸命学ぶみらい学園になってほしいという想い。
166	中庭	みらい学園が続いてほしい 四季の変化を感じられる学校になってほしい 学園生活を満喫できる学校になってほしい
167	仲間	7～15才までがいて年の差が大きいけど、同じ学年の子たちと友達になるんじゃないかと、違う学年の子たちと友達になるように願ったフレーズ
168	仲間と協力	未来に向かっていく
169	虹	七色の未来
170	日光山	小学校の遠足でよく行ったお寺、常楽寺
171	飛び立とう	未来のために頑張るという想い
172	平荘	上荘と平荘が合わさって両荘みらい学園が生まれるという想い
173	平荘湖	平荘町のことを入れた。 加古川の自然の加古川や平荘湖をいれた
174	平和	両荘みらい学園の人がみんな平和でいられるようにいれた 仲間と共に協力し、平和に過ごす
175	望む	前向きで良いと思ったから

176	未来	未来にもこの学園があってほしいと思ったからです。
		みんなには希望や未来があるということ
		みらい学園だから
		未来や栄光に進んでいってほしい
		みらい学園の「みらい」→「未来」、生徒の未来
		加古川の未来を思いうかでした
		三校の校歌にはいつている言葉を選び、未来に向けてがんばっていききたいという想い
		みらい学園だから
		前向きで良いと思ったから
		両荘みらい学園という名前だから「みらい」と入れたい
		両荘みらい学園の未来が明るくなってほしい
		みらい学園になるので、新しく始まっていく「未来」に向けてという意味で「未来」をいれたい
177	未来にはばたく	だんだん大きくなって未来にはばたける
		みらい学園がはばたくという意味
178	未来にむかって	自然が多い両荘地区が発展していくようにこの思い
179	未来にむかって進もう	私たちには、かがやいた未来があるとshんじています。
180	未来に羽ばたく	未来に向かっていく
181	未来に向かって	未来のために頑張るという想い
		これから新しい学校生活が始まるので、いいスタートが切れるように前向きな気持ちになっ てほしいから
182	未来に向かって大空を翔ぶ	翔ぶ⇒自由に大空を羽ばたいてほしい
183	未来の種	自分の未来や過去の影響で出てきた種
184	未来へつなぐきぼう	みらい学園だからみらいをつけた
185	未来へはばたく	
186	未来へはばたけ	「加古の流れ」のフレーズは3つの校歌全てに入っているのだから次の校歌にもつなげたい と思ったからです。両荘みらい学園は、これからずっとその名前なので他の学校も入れてい たので同じように似ているようにしたいと思ったからです。
187	未来へはばたけ両荘っ子	未来へはばたいてほしいという想い
188	夢	小学生・中学生ともに交流がある学園 未来をめざして
189	明るい	両荘みらい学園の未来が明るくなってほしい
190	明るい かがやく 未来	明るく、かがやいた未来のためにがんばろうという思い。
191	明るい笑顔	明るい笑顔の学園にしたいし、みんなが笑顔の学園になってほしいから
192	明るい未来	この学校で学ぶ人に明るい未来を歩んでほしいという想い
193	目指そう文武両道を	元気でびのび楽しく通学し、個性豊かに健やかに。
194	勇気	勇気を持って何事にもチャレンジするという想い
		なにごとにもあきらめず、希望をもって進もう
195	友	みらい学園は6歳から15歳まで集っているが、みんなが仲よくあってほしいと思っている。
196	友だち	みんながえがおになるため。
		友だちを大切にしたいから。
		友だちはだいじだから
197	友だちのやさしさ	友だちはやさしいから「友だちのやさしさ」といれました。
198	友だちを大切に	みんな大事な友だちだから
199	友と出会い 友と学び 友とつかもう あふれる未来を	校歌の歌詞はどれも立派なものばかりですが、子どもには理解できない言葉が多いように 思います。小さい子どもさんにもわかりやすい歌詞がよいのではないかと思います、応募さ せていただきました。
200	友と笑い 友となやみ 友と明日へ 新しい自分へ	校歌の歌詞はどれも立派なものばかりですが、子どもには理解できない言葉が多いように 思います。小さい子どもさんにもわかりやすい歌詞がよいのではないかと思います、応募さ せていただきました。
201	友と友	未来へはばたいてほしいという想い
202	友情	年の差が大きい生徒が同じ場所に集まるから、そこを活かしてたくさんふれあい、友情を深 めてほしいから

203	友達	7～15才までがいて年の差が大きいけど、同じ学年の子たちと友達になるんじゃないかと、違う学年の子たちと友達になるようにと願ったフレーズ
204	友達みんな	ともだちがだいじだからです。
205	理想の郷	重厚感があって、今時の歌詞にはない感じがして面白いと思ったから
206	理想郷	「加古の流れ」のフレーズは3つの校歌全てに入っているのだから次の校歌にもつなげたいと思ったからです。両荘みらい学園は、これからずっとその名前なので他の学校も入れているので同じように似ているようにしたいと思ったからです。
207	流れ	住んでいる市の特徴
208	両荘	住んでいる市の特徴
		両荘のいいところを校歌に入れようという思い
		「加古の流れ」のフレーズは3つの校歌全てに入っているのだから次の校歌にもつなげたいと思ったからです。両荘みらい学園は、これからずっとその名前なので他の学校も入れているので同じように似ているようにしたいと思ったからです。
		未来へはばたいてほしいという思い
		加古川が近くにある ふるさとを大切に思う気持ち
		学校の名前
		両荘みらい学園の未来が明るくなってほしい
209	両荘に咲いた一輪の花 ひとを幸せにする一輪の花 未来からの風にふかれて飛んでいる	私の家(都台)の近くに、名も知らぬ可憐な花が咲いています。このように、上荘町から両荘へ、学生の美しい心の花が咲いて広がっていけばいいなあと思いました。
210	両荘みらい学園	学園名だから
		自分たちの学校を強調させたいから
		どんなみらいでもおそれずトライする
		「加古の流れ」のフレーズは3つの校歌全てに入っているのだから次の校歌にもつなげたいと思ったからです。両荘みらい学園は、これからずっとその名前なので他の学校も入れているので同じように似ているようにしたいと思ったからです。
		両荘みらい学園が明るくはなやかな学園にしたいなという思い
		三校の校歌には入っている言葉を選び、未来に向けてがんばっていきたいという思い
		学校の名前は、元両荘校歌に入っていたから
		学校名だから
		まず学校名は必要だと思ったし、平荘は分からないけど小学校も中学校も加古の流れが入っているから
上荘と平荘が合わさって両荘みらい学園が生まれるという思い		
211	緑に関する言葉	緑を大切にしたいから
212	励まし合い 認め合い	元気でこのびのび楽しく通学し、個性豊かに健やかに。
213	夾竹桃(きょうちくとう)	小学校の木造講堂の横にいっぱい植わっていた

両荘中学校 校歌

作詞 竹中郁

作曲 大沢寿人

- 一、のぞむははるかかざすはまこと
われらは学ぶ朝日をあびて
光はこもるころの底に
両荘両荘両荘中学校
加古のながれに声あぐわれら
- 二、究めてひろし尽くしてふかし
われらは交わす明るい土に
交わり笑まいころのままに
両荘両荘両荘中学校
山のこだまにこたえるわれら
- 三、ゆびさす星は久遠のさとし
われらは磨く世界の一人
叡智の目ざめころの冴えに
両荘両荘両荘中学校
雲のゆききにこがれるわれら

平荘小学校 校歌

作詞 永井貞雄

作曲 佐々木すぐる

- 一、加古の流れの 水澄みて
あらら木繁げる 宮山や
黄金波うつ 平の里
つどう我らの 学び舎は
強き心と 身体をば
磨き鍛えん 庭なるぞ
- 二、桜花さく 春がすみ
もみぢ散りゆく 秋の香も
都の手振り よそに見て
道を求めて たゆみなく
学びの業に 励みつつ
やがて築かん 理想郷

上荘小学校 校歌

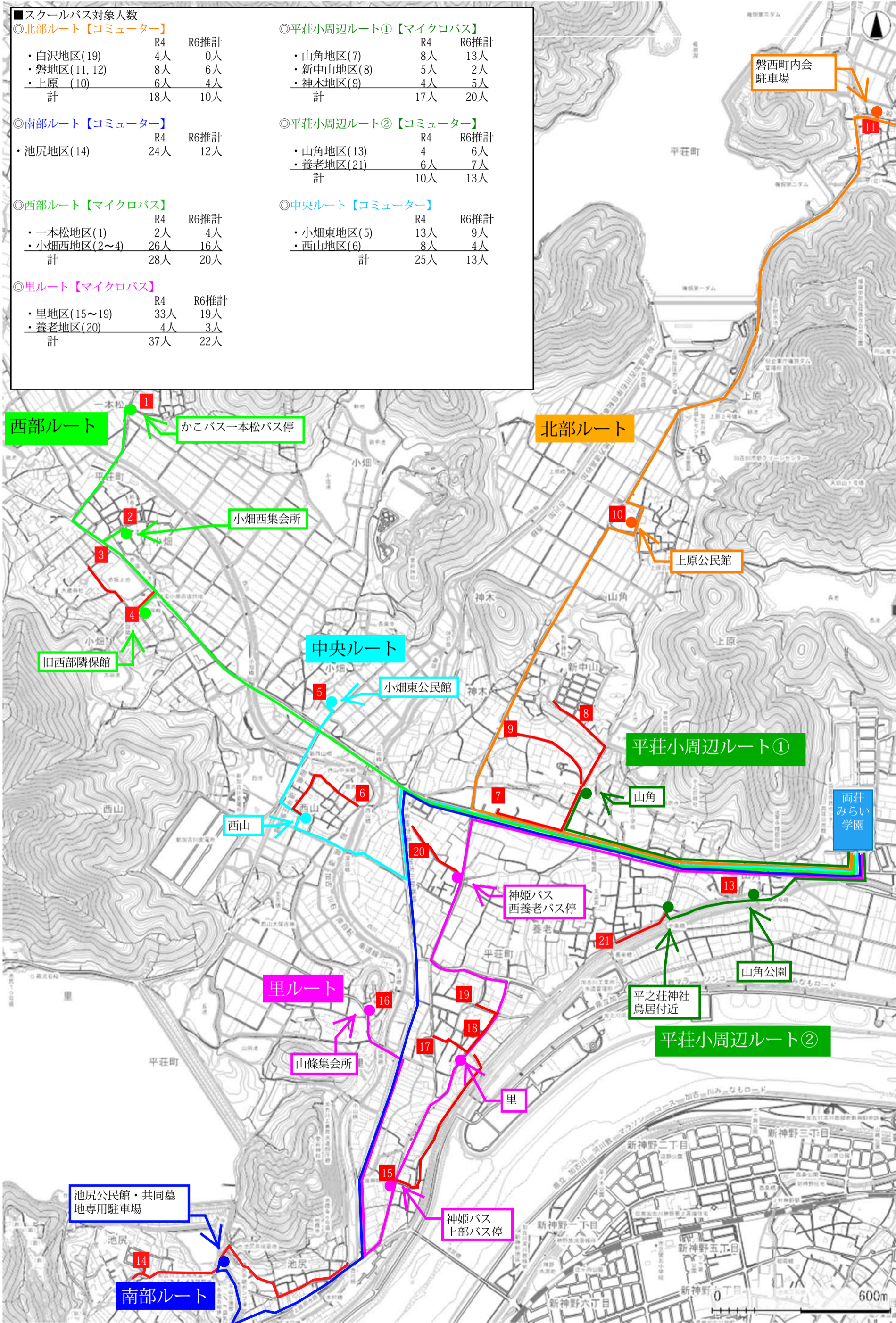
作詞 竹中郁

作曲 不明

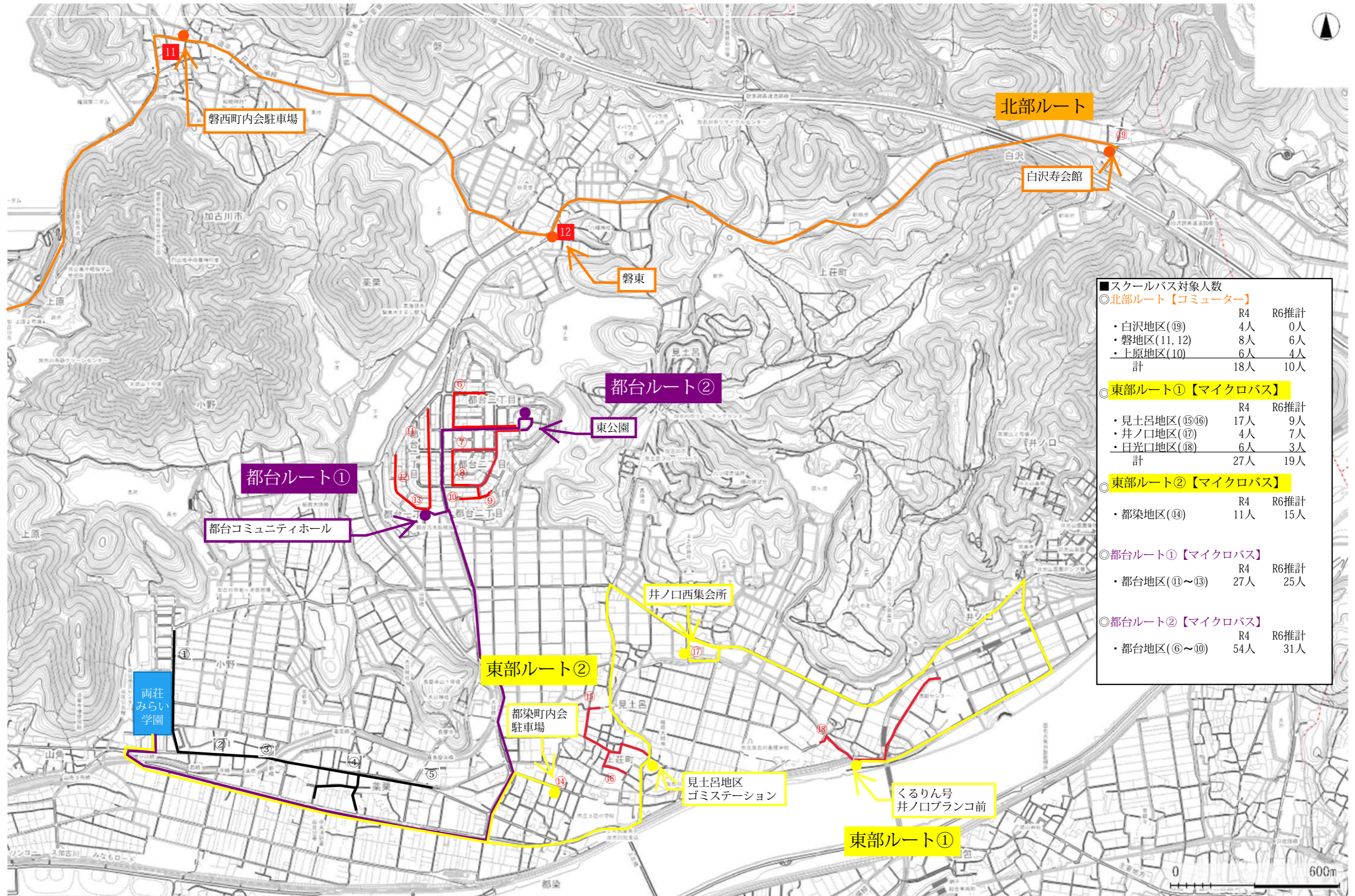
- 一、加古の流れに うつる影
われら若木の のびるかげ
ひろい空 白い雲
われら光る 上荘小学校
- 二、手と手をつなぐ 友と友
われら若木の 歌う声
遠い丘 うねる道
われらつどう 上荘小学校
- 三、ちえのめぐみと いくつしみ
われら若木の あびる風
近い星 ゆれる花
われらさめる 上荘小学校

スクールバスルート、通学路図（素案）【北部、南部、西部、平荘小周辺、中央、里ルート】

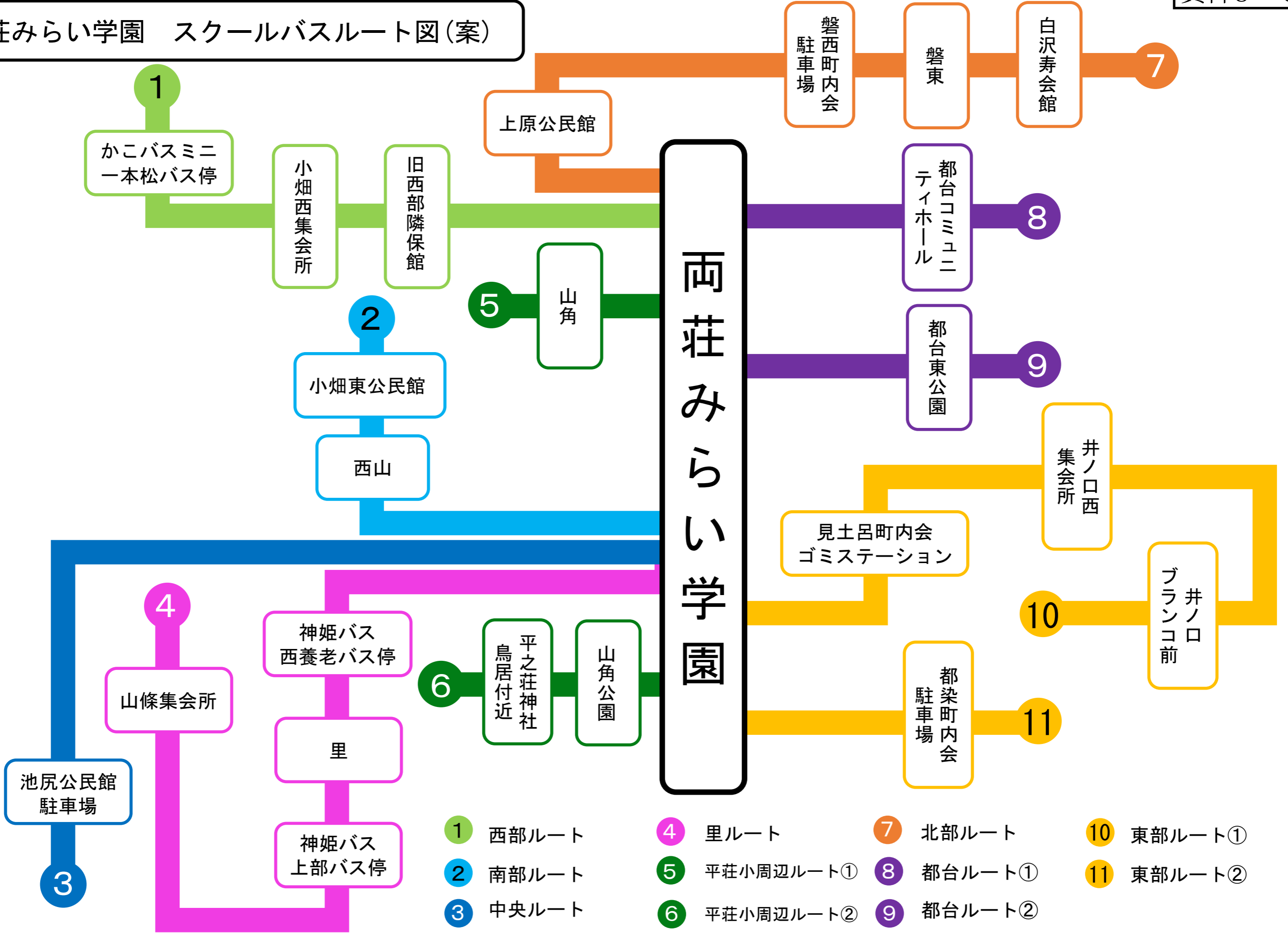
■スクールバス対象人数		
◎北部ルート【通勤ター】		
	R4	R6推計
・白沢地区(19)	4人	0人
・磐地区(11,12)	8人	6人
・上原(10)	6人	4人
計	18人	10人
◎南部ルート【通勤ター】		
	R4	R6推計
・池尻地区(14)	24人	12人
◎西部ルート【マイクロバス】		
	R4	R6推計
・一本松地区(1)	2人	4人
・小畑西地区(2~4)	26人	16人
計	28人	20人
◎里ルート【マイクロバス】		
	R4	R6推計
・里地区(15~19)	33人	19人
・養老地区(20)	4人	3人
計	37人	22人
◎平荘小周辺ルート①【マイクロバス】		
	R4	R6推計
・山角地区(7)	8人	13人
・新中山地区(8)	5人	2人
・神木地区(9)	4人	5人
計	17人	20人
◎平荘小周辺ルート②【通勤ター】		
	R4	R6推計
・山角地区(13)	4人	6人
・養老地区(21)	6人	7人
計	10人	13人
◎中央ルート【通勤ター】		
	R4	R6推計
・小畑東地区(5)	13人	9人
・西山地区(6)	8人	4人
計	25人	13人



スクールバスルート、通学路図（素案）【北部、東部、都台ルート】



両荘みらい学園 スクールバスルート図(案)



- ① 西部ルート
- ② 南部ルート
- ③ 中央ルート

- ④ 里ルート
- ⑤ 平荘小周辺ルート①
- ⑥ 平荘小周辺ルート②

- ⑦ 北部ルート
- ⑧ 都台ルート①
- ⑨ 都台ルート②

- ⑩ 東部ルート①
- ⑪ 東部ルート②

工事の進捗状況について

両荘みらい学園建設工事が8月から開始しました。9月に東側の渡り廊下を解体し、エレベーター棟及び教室棟の増築に向けて準備作業を実施しました。また、特別教室棟の東側部分を改修するため、天井や壁の撤去作業を行いました。



中庭の状況



特別教室棟（東側 1 階部分）

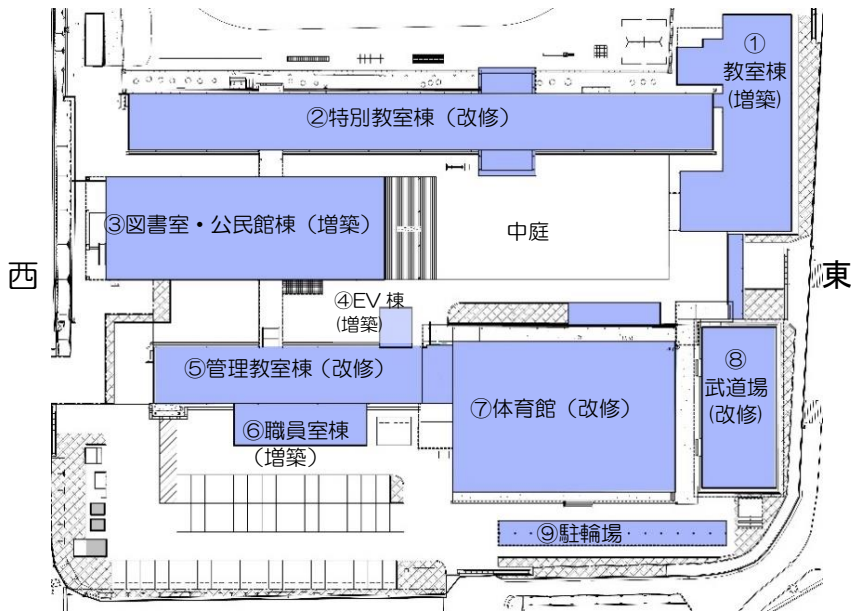
■ 工事概要

・ 増築部分

- ①教室棟
- ③図書室・公民館棟
- ④エレベーター棟
- ⑥職員室棟
- ⑨駐輪場

・ 改修部分

- ②特別教室棟
- ⑤管理教室棟
- ⑦体育館
- ⑧武道場



■ 建設工事スケジュール（予定）

年	令和4年					令和5年												令和6年	
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
①教室棟	■					■												■	
②特別教室棟	■					■ 東側部分					■ 西側部分							■	
③図書室・公民館棟	■					■												■	
④エレベーター棟	■					■												■	
⑤管理教室棟	■					■ 2階の一部					■ 残りの部分							■	
⑥職員室棟	■					■												■	
⑦体育館	■					■												■	
⑧武道場	■					■												■	
⑨駐輪場	■					■												■	

（注記）開校後、令和6年12月末まで、現在の両荘公民館の解体工事を行います。